

日本海運経済学会シンポジウム

関西圏における 航空需要の新たな創出

— 関西学院大学とJAL & ANA総研との連携協定締結記念 —

関西学院大学は、2020年10月に日本航空株式会社、そして2023年11月には株式会社ANA総合研究所と連携協定を締結しました。その一方で、2006年2月に都市型の海上空港として開港した神戸空港では、大阪・関西万博が開催される2025年から国際チャーター便、さらに2030年頃からは国際定期便の就航が見込まれています。他方、神戸市は、世界的に有名な航空機関連企業が集積する国内有数の航空・宇宙産業都市であり、大企業だけではなく、航空機部品の高度な技術を有する幅広い中小企業が集積し、航空機産業クラスターを形成しています。神戸空港の国際化を半年後に控えた本年度の日本海運経済学会全国大会では、そのプレ・イベントとして、神戸市および航空会社による講演とそれに続くパネル・ディスカッションを開催し、関西3空港の最大活用によるこれからの関西圏の空の未来を描きます。

10月25日(金)
14:30-17:00 (14:00受付)

関西学院大学

西宮上ヶ原キャンパス 中央講堂
〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155

登壇



本橋 学氏

スカイマーク株式会社 代表取締役社長執行役員



平澤 寿一氏

全日本空輸株式会社 代表取締役専務執行役員



本田 俊介氏

日本航空株式会社 執行役員 (株式会社ジェイエア社長)

平田 晃士氏

神戸市港湾局空港調整課 課長

コーディネーター：松本 秀暢

関西学院大学総合政策学部 教授

主催：日本海運経済学会

後援：関西学院大学

関西学院大学総合政策学部・同大学院総合政策研究科リサーチ・コンソーシアム

連絡先：松本 秀暢 (関西学院大学 総合政策学部)

Tel: 079-565-7649 E-mail: h.matsumoto@kwansei.ac.jp

参加申込は
QRコードから
一般参加可
参加費無料



関西学院大学